

(共生社会・地域活性化に関する調査会)

共生社会・地域活性化に関する調査報告要旨

本調査会は、共生社会・地域活性化に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、第七十六回国会の平成二十二年十一月に設置された。

本調査会は、「地域活力の向上と共生社会の実現」を調査テーマとし、一年目は「元気で活力ある地域の構築」、二年目は「活力ある共生・共助の地域社会・まちづくり―被災地の復興に向けて―」を調査事項とし、最終年に当たる三年目は、「次世代へつなげる活力ある地域社会」を調査事項として取り上げることとした。参考人からの意見聴取、政府に対する質疑、委員間の意見交換等を通じて調査を進めてきた結果、「次世代へつなげる活力ある地域社会についての提言」を含めた調査報告書を取りまとめ、五月二十九日、議長に提出した。

本調査会として取りまとめた提言の主な内容は、次のとおりである。

一 住民やコミュニティによる地域活力の向上

1 地域に貢献するコミュニティビジネスの推進

会計事務支援や他の起業家との交流機会の提供、セーフティネットの構築

2 商店街等の地域集団の強化

外部人材の積極的活用、商店街等によるまちづくりの目標設定と行政の支援、買物客や住民同士の交流拠点確保

3 まちづくりと公共交通

行政・住民の支援、商業・農業・漁業との連携、地域事情に応じた第三セクター事業の採算の検討

4 過疎地の価値の再認識

自然を扱う技の継承、外部の視点による過疎地の魅力・価値の再認識、都市と地方の交流促進

5 まちづくりにおける行政の在り方

積極的な情報発信のための職員の意識改革、NPO等の活動の場への職員の参加、各種助成制度を組み合わせて有効に活用できる仕組みづくり

二 多様な主体の社会参加と支え合い

1 高齢者の能力発揮と孤立化防止

意欲と能力のある高齢者に対する活躍の場の提供、高齢者のグループ活動支援等の孤立化防止、地方自治体における高齢者等の実情把握

2 障害者の社会参加の促進

学び合い交流し合う場の設置による障害者の社会参加の仕組みづくり、思春期を迎えた障害者の支援

3 女性の社会参加の拡大

女性起業の拡大と男女協働への展開、子育て中の就労支援等の女性が継続して働ける環境の整備

4 個人情報保護制度の広報啓発

説明会開催等の広報啓発活動と効果の検証、国と地方自治体が連携した相談業務の充実

5 要援護者等の情報把握

要援護者の名簿作成を法的に位置付けるための災害対策法制の見直し、NPO等の公益的な団体に限定した個人情報提供の仕組みづくり

三 被災地の復興・再生

1 安心して暮らせるまちづくり

産業の再生、雇用の確保、インフラ復旧、住宅再建、地域アイデンティティの再構築、コミュニティの再生、多様な主体が復興を担えるための人材育成・起業支援

2 原子力災害被災地の復興・再生

国と地方自治体の首長や住民との信頼関係の構築、雇用の確保、インフラ整備、生活関連サービスの復旧・再開、避難受入地域への国の支援、農作物等の風評被害の解消

四 次世代のまちづくりに向けて

1 これからの住民参加のまちづくり

行政と住民が対等に議論できる関係の構築、行政と住民をつなぐ専門家の柔軟な発想による取組

2 次世代を担う人材の育成と確保

子ども・若者に対する時代に合った的確な教育、挑戦できる場等の自信を持てる機会の提供、次世代の多様な働き方・生き方を学ぶ機会の拡充、地域に貢献できる人材の招致とNPO等の育成

3 子ども参加のまちづくり

地方自治体における専門部署の設置・専門家の配置、子どもの意見に対する地域社会の受容力の強化